

会報

TUWV
OB会

ボクの北ハヤ岳

佐藤 良子(8期)

ボクの名は「岳弘」。妹は「雪子」。ごうんのとおりボクたちは親の趣味を押しつけられて人生のスタートを切りました。

その日(〇日山行)も本日はボクは風邪が直り切っていないのです。三日前高熱で幼稚園を休んで、今だに微熱が続いているのにおかあさんは自分か山に行けなくなるのをひたすら恐れて決してボクの体温を計ろうとしません。微熱をおしてボクはこの標高〇〇〇メートルの麦草峠まで一息に引きずりあげられてしまいました。おかあさんだけ「久しぶりの清々しい山の冷気!!」と興奮して感動してるけどボクとゆっこはいい迷惑心でした。

それはさておき、原生林の中は威厳に満ちて、とてもわかまなと言えらる雰囲気ではありませんでした。北ハンの昼前暗き原生林の奥深く入り込むと巨大な針葉樹が逞しく根を地面に張り出してそそりたち

ボクを圧倒します。でも倒木を乗り越えたり、霜柱をエィッヤットウツとキックで崩したり結構遊び〜歩きまわった。特にスリルがあって面白かったのは白馬池の氷割りでした。アーア、それにしては氷割りの高見石からの遠々と続くあの石がゴロ〜の下りだよねー。4才にしてボクは濱の河原をそれこそ死ぬ思いで下ったのです。おかあさんたちには「またきでもボクにとっは岩登りも同然、仲々前進しないから足は冷たくなるし惨々でした。おかあさんたちは皮靴だけボクはセ〇田のただのズックだもの、そろ〜エンストおこそうかと思っで座っていると〇日の仲間と出合い、「坊やエライカア」なんて言われるとまた腰を上げざるをえなくなつてまた歩くけど、もともとエネルギーが尽き果てているから再びエンコしてしまつて、こんどこそだこぬて、ひとつ護かにおんぶしてやるうかと思つて、またひょこり仲間が現われて「岳弘君すかいなアー」なんて驚愕と尊敬のまなこで見られると、またく奮起せざるをえなくなる。かくしてボクは諸々のハンデを克服してとう〜麦草峠から波の湯温泉まで自力で歩きとつたわけです。これじゃ明日は八度の熱間差いなした。



ところで、最もつらかったのは雪子じゃないかな。あの子は我慢強いから決して表に出さないけど……あの四角い背負子に入れられ、はなして手足は冷えるばかり、鼻水は垂れるし、ほっぺは寒さでまっかっか。おまけにおかあさんが茅野で紙おむつを買ったのを、そのままバスに乗ってしまった。時にはこの先どうなるかと思ひました。あぐくのほてに高見石の頂上ではあとうさんが哺乳瓶を岩に落つこととして割ってしまった。一才にして食欲と排泄の生命の基本となるべき2つの欲求を奪われてしまい、雪子は高見石からの

佐藤(8)
中里(8)
小笠原(8)
三日月(8)
小原(4)

絶景とは裏腹に絶望のどん底につき落
された思いだったという。波の湯のおぼさ
んに「ホク、どこから来たの？」と聞かれた
から「にほん」と答えたら大笑いされて大
恥かきました。こんどおあめさんたちが山
に行くときはどうしようかな。ホイ〜
ついて行くのは考えものだが、かといって一
人で留守番できる訳もなし。ヤッぱりつ
いて行くことになるのかな。親が主尊
権を握っている間は宿命と考えて締める
とするめ。

10年目の顔

野村 彰夫 (6期)

我々四二年卒の仲間には、去る10月9日
10日にかけて仙台近郊の秋保温泉にて
ミーティングを主体とした卒業10周年
記念合宿を挙行した。北は秋田の山奥
より南は大阪から19名の参加と予想以上
の多くの仲間が集会した。しかし、どうい
うか、前日までの天気はどこへ行、たのか、
9日は早朝より大雨、現役時代、雨にたた
れることの少なかつた我々にとって全く皮肉な
話である。しかも、東北本線の事故で特急
が一時両方も遅れるというおまけつき。

ホッ〜集って来て、互に顔を見合せ、一
瞬、誰だったかなと思つ人。しかし殆どは昔
と変化なくというの。進歩がないというか、
そこへあの懐しい宗村の甲高い声が旅館の
廊下へ響き渡って来た時、この10年間の空白
が一瞬にして短絡された感じのした。宴会
では互に近況を報告し合い、飲むほどに、酔
うほどに懐しい歌が飛び出して来た。宴会の後
例によって4人ずつ卓を囲んでのミーティング。ま
た別室では「石田先生(内科)」を中心として、家
庭医療、家族計画等についての相談コーナ
ーもたれ、なごやかなの盛況であった。子供の幼
稚園の入学の苦勞話が出てくるあたり
になると、10年の歳月を感じさせる。十年前の
時頃になると翌日の山行もあつた。はずむ
話も止めて、思田の歯ガシリを懐しみつつみな
床につく。
聖朝8時起床。さすが都会派の人々。この
10年間の訓練というの、習性というの、私か起
きた時には部屋には誰一人としていなかった。
さあ、今朝は「草薙会」だ！、しかし、雨は
前日より止まず、前夜の疲勞もあって中止
しようという意見。いや、材料があるから速行
しようという意見。ところが天は我々を見放しはしな
かった。10時頃より、突然青空が見え始めたの
で、近くの川原で草薙会を行なった。前夜と

はうって変って、みな静かに草薙なめかなど
に舌鼓みを打った。最後は15周年あるいは
20周年の「合宿」を、大阪グループの世話
によって挙行することを約束し、みな深
まりゆく東北の秋を背に、それぞれへの帰
路についた。

M 雲の二年へ集合 III 10期が討画

44年の夏、北アルプスは驚愕的大雨
に見舞まれ、高瀬川も氾濫、葛温泉も
流されてしまいました。その直前、TJVV
も夏合宿のフィナーレを雲の平で迎え
ました。時の三年部員即ち10期の連
中の夏合宿の集中地、雲の平で今年
の夏集まる討画を立てています。
10期以外の人でも都合のつく人は
集ってみてはいかがでしょうか？

集中日、7月30日(土)又は8月6日(土)
午後3時

場所 雲の平(テン場)

不明な点は欠りの人に聞いて下さい。

- 菅原 英行、杉森 一大、
高野 秀夫、若佐 則雄

(3) OB会費の振込先; ㈱勸業銀行川崎支店「188-1604」(普通口座)

初夏のピクニックのお知らせ!!

毎年秋に行なっておりますOB山行に加えて、今年は家族連れ
のパーティーを企画してみました。ぜひ、お子様連れ、恋人同伴で参加
して下さい。場所は西州沢の静かな河原、たき火を囲んでバーバ
キューを。大滝沢のバス停のすぐ近くの河原なので、お子様連れ
でも心配は無用です。

準備の都合上前もって連絡いただければ幸いです。オニギリと
飲み物持参の飛び入りも大歓迎です。

日時: 5月22日(日) 雨天中止

場所: 西州沢大滝沢の河原
(中川温泉より40分上流)

交通: 小田急線新松田駅より富士急バス
「箒沢」行き大滝沢下車
又は
「中川温泉」行き終実より歩いて40分
(中川まで車にて迎えに出ます)

連絡先: 小原 佑一 自宅 045-363-8735
会社 045-822-5341
(味の素中央研究所 LL2)

菅原 英行 会社 045-881-1201
(日立電子サービス 勤務部)

佐藤 拓哉 自宅 0468-41-8622
会社 045-712-1111 内4769
(日揮 EN技術開発部)

バス時刻表(新松田発)

6:05 箒沢行
7:10 中川温泉止り
8:10 箒沢行
9:10 中川温泉止り
10:45 >
11:55 箒沢行



